

統合医療とは「治る力」を引き出す治療が基本。

現代西洋医学と代替医療をバランスよく取り入れた統合医療は、医師と患者との信頼関係を大切にしたいオーダーメイドの治療システム。

回答者

服部かおるさん(はっとり・かおる)

神戸市生まれ。1983年神戸大学卒業、神戸大学病院、六甲病院、日高病院を経て、1990年神戸大学医学博士の学位を取得。同年から三木市民病院内科勤務。2001-2003年アリゾナ大学Associate Fellowship課程で学ぶ。2004年フラワーロード服部内科を開院。「病気を未然に防ぐこと」「健康を保つこと」がモットー。http://www.hattori-naika.com/



Q 統合医療の必要性とは？

A 統合医療が生まれたアメリカ合衆国では、その背景に医療のさまざまな問題がありました。病気だけを見て病人を診ない、医者とのコミュニケーションが難しい、身体と心の関連や人間としての尊厳が配

慮されない、医療費の高騰や無保険問題など。近年の日本でも、同じような医療状況が心配されています。

病気の治療や予防に対し、現代医学と代替医療を併用する人が増えているという現状を見ても、統合医療が求められているのだと思います。

日本では統合医学に似た考え方だとされている漢方や鍼灸など、伝統医療もあり、それらをただ取り入れるだけでなく、現代西洋医学を基盤にして自然治癒力を引き出すことが統合医療の目指すところです。

具体的な診療方法は一般的な病院と変わりません。特別な漢方を使ったり、特殊な療法ではなく現代西洋医学をベースに問診や検査で病状や症状を判断し、そのうえで、患者さんそれぞれに合わせた治療を行います。例えば治療の課程で、鍼灸や漢方、ヨガセラピーなど必要と思われる方法や専門家を紹介する場合もあります。統合医療とは医療の形のひとりの概念なのです。医師や医療機関によってもさまざまな考え方があると思いますが、健康志向で

Q 統合医療と現代西洋医学との関わりについて教えてください。

A 自然治癒力を重んじ、患者と医療者の信頼関係を大切に、西洋医学をベースにさまざまな治療法をベストな組み合わせで取り入れるという統合医療ならではのやり方は、今後ますます必要とされると思います。

A 統合医療はあくまでも西洋医学をベースにした考え。現代西洋医学の得意分野は科学を駆使し医療機器を使った検査や高度に発達した救急医療、外傷の対処や外科手術、抗生物質を使った治療などです。薬などの効果が早く分かります。副作用のリスクやコストがかかることといった問題があります。統合医療では代替医療などと組み合わせ、穏やかでリスクが少なく予防医療としても利点を発揮します。西洋医学的な検査で異常がないのに不調がある、患者さん自身が西洋医学以外の治療法を望んでいる慢性疾患、現在西洋医学では治療方法がないと考えられている場合に

用いることが多いのが特徴的です。

大きなポイントのひとつは「健康」に対する考え方の違い。現代西洋医学では病気にのみ関心を集中してきたため、健康についてはあまりとした概念を持っていません。統合医療では、健康とは単に病気がないということではない。人間を構成して取り巻くあらゆる要素が大きな全体としてよく調和し、バランスが取れている状態だと考えられています。心と体を別々にした心身一元論で進化してきた西洋医学に対し、統合医療や世界各国の伝統医療では心と体のつながりを重視します。病気を心身相関によるものとしてとらえ、現代西洋医学も含めて、あらゆる方向からのアプローチを行います。

Q 現在統合医療は、どのように行われているのですか？

A 統合医療は従来の医学とは異なり、枠にはまりきらない新しい健康志向・未来志向のシステムです。指標となるのは統合医療の生みの親であるアンドルー・ウィル氏が米国アリゾナ大学で創設した「統合医療プログラム(PIM)」。その中には医の哲学、代替医療家訪問実習、食事と栄養学、医のアーソ(面接法)、医と世界の文化、癒やしの環境、運動療法、エネルギー医学、心身医療、医の法律、症例検討会、気管支喘息、前立腺がん、女性の健康、うつ病、関節リウマチ)、用手療法、マツサイジ療法、カイロプラクティック、オステオパ

シー)、植物療法(メディカルハーブ)、中国医学、ホメオパシー、リーダーシップ論など医学だけでなく広く人間や社会に関わることを学びます。それらを医療現場で用いる場合、日本では医療機関や医師によって方法が異なるのが現状です。具体的な代替医療に関しては、伝統医療である漢方や鍼灸などが広く知られています。私のクリニックを例にとると、漢方、鍼灸、アロマセラピー、ヨガセラピー、サプリメント療法などを用い、各々専門家と連携する形で統合医療を行います。シンプルで効果的、安全、しかも費用のかからないライフスタイルを維持し、生涯健康で快適な生活を送ることを目指す統合医療のあり方を、多くの人に知ってほしいですね。

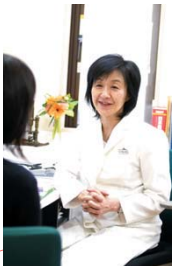
統合医療の仕組み。

統合医療は医療機関によっていろいろなスタイルをとっています。ひとつの医療機関の中で西洋医学と代替医療を併用した治療を行うことや、各医療機関とネットワークを結んで統合医療を目指すなどさまざまです。関西では統合医療を提唱している医療機関は、まだそれほど多くないのが現状。神戸市のフラワーロード服部内科で行われているのは、各分野のスペシャリストのネットワークをつくる、いわば地域連携型の統合医療。漢方薬局、鍼灸院、ヨガインストラクターなどと連携し、それぞれの情報を共有しながら最善の治療方法を提案しています。

医者

フラワーロード服部内科

西洋医学的な検査などを行い、各機関に情報提供してコーディネートを行う。



鍼灸・アロマ

ザニーツハウス ポスカ

個人の体質に合わせた鍼灸治療を行う。必要に応じて服部内科での診療を勧める。

漢方

中央漢方薬局

服部先生からの処方箋による漢方処方のほか、養生法などもアドバイス。



ヨーガ・鍼灸

きむら鍼灸院 ケララ

鍼灸治療のほか、ヨーガ教室でインストラクターとしても提携。